

# 新型コロナウイルスワクチンの 職域接種について

# 職域接種の概要

## 職域接種とは

- (1) 地域の負担を軽減し、接種の加速化を図るため、賛同する企業や大学等において職域単位での接種を可能とする。
- (2) 医療従事者や会場などは企業や大学等が自ら確保し、自治体の接種事業に影響を与えないこと。

## 企業等に求めること（実施要件）

- (1) 医師・看護師等の医療職の他、会場運営のスタッフ等、必要な人員を企業や大学等が自ら確保すること。  
また、副反応報告などの必要な対応を行うことができること。
- (2) 接種場所・動線等の確保についても企業や大学等が自ら確保すること。
- (3) 社内連絡体制・対外調整役を確保すること。（事務局を設置すること。）
- (4) 同一の接種会場で2回接種を完了すること、最低2000回（1000人×2回接種）程度の接種を行うことを基本とする。
- (5) ワクチンの納品先の事業所でワクチンを保管の上、接種すること。

## 企業等が行うこと（準備から接種までの流れ）

＜準備＞ 上記実施要件を確保の上、専用ウェブ入力フォームに必要事項を入力。

国が代行・補助  
(NEC(最終調整中))

- 市町村との集合契約に必要な会場ごとのコードを付番申請する。
- 集合契約への加入。
- 接種責任医師名、ワクチン保管管理責任者等の必要情報をV-SYS上で登録する。
- -20℃冷凍庫を手配する。
- ワクチンの必要量等をV-SYS上に登録する。

＜最終準備＞ -20℃冷凍庫を設置。ワクチンの納品リハーサルを実施。

＜接種本番＞ ワクチン接種を実施。実績を報告。

＜費用請求＞ 費用請求を行い、後日、入金を確認。

# 職域接種のパターン

## パターン1 企業内診療所で実施

- ・ 企業内の既存の診療所を活用

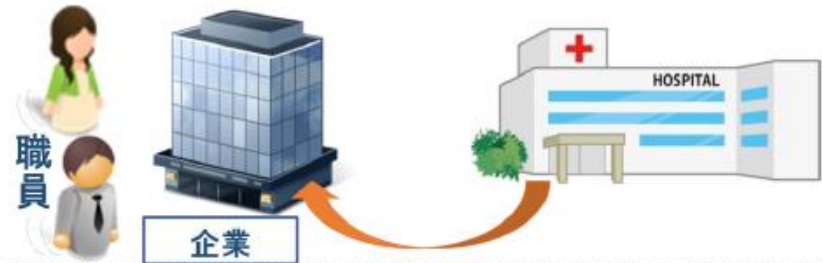
契約者：企業又は企業内診療所



## パターン2 外部機関が出張して実施

- ・ 外部の医療機関が企業内の会議室などで実施
- ・ 実施医療機関は複数の企業から委託を受けることも多い

契約者：医療機関（巡回診療所等）  
※新規に医療機関を開設するケースも想定される



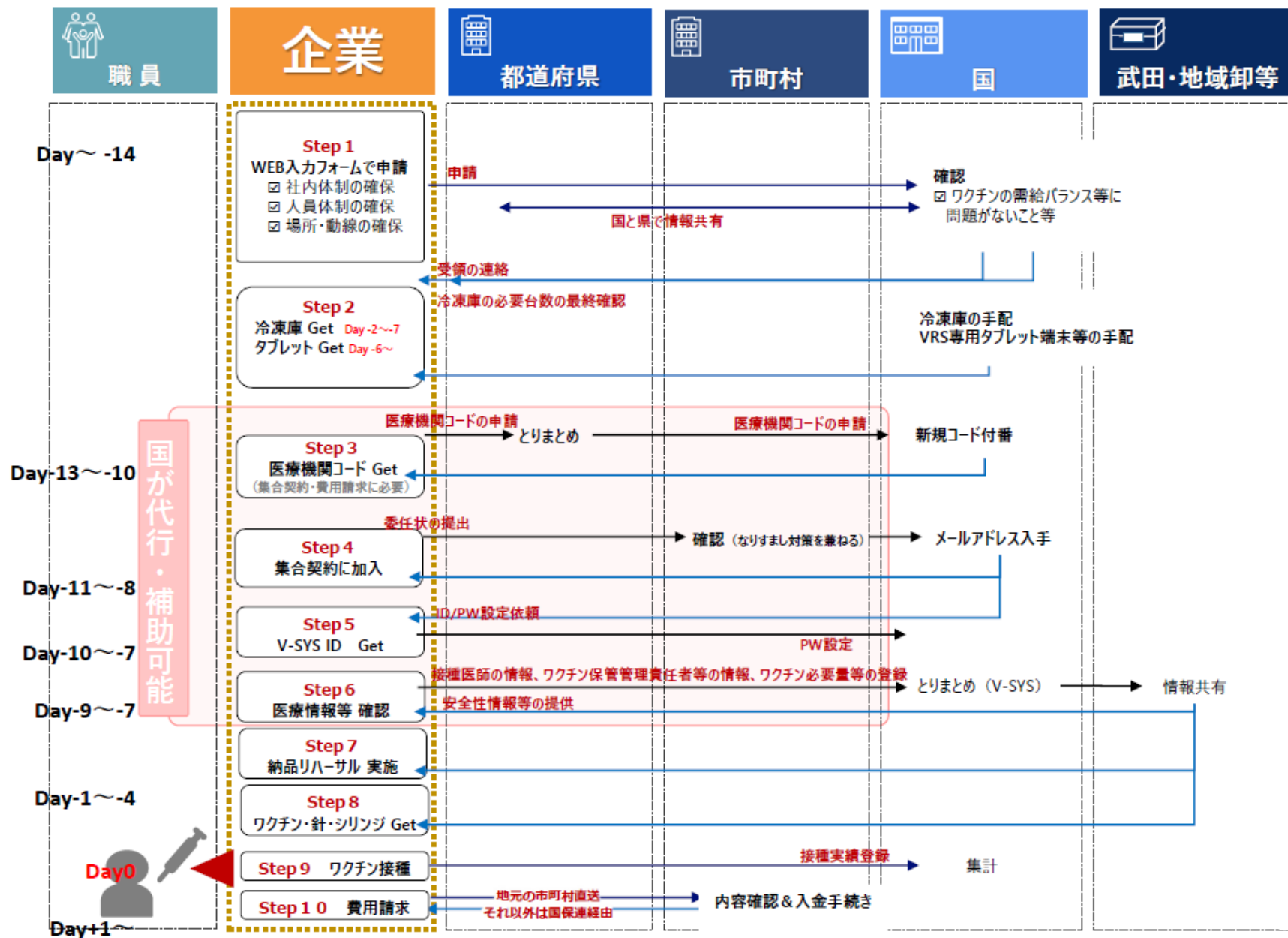
## パターン3 外部機関に出向いて実施

- ・ 企業が指定した医療機関で実施
  - ・ 実施医療機関は複数の企業から委託を受けることも多い
- ※地域の予防接種体制に影響を与えないことに留意

契約者：医療機関（地域の医療機関）



# 職域接種の準備フロー図（暫定版）





# 職域接種にあたり企業側で準備いただく事項

## 会場における人員確保について

医師・看護師等の医療職の他、会場運営のスタッフ等、必要な人員を企業や大学等が自ら確保する必要があります。

<具体的に必要な人数について（例）>

- ・接種人数：400人/日　・接種時間：8時間（9時～18時※1時間休憩）
- ・3レーン設置　15人程度/1レーン/1h
- ・医師2名（問診）、看護師6名（接種3、予診票2、接種補助1）、事務職6名（受付2、誘導2、消毒等の対応2）、会場責任者1名

## 準備するもの、接種場所等について

会場を設置するに当たっては、接種場所・導線等についても企業や大学等が自ら確保いただくとともに、各種物品を確保いただく必要があります。

<具体的な準備（例）>

- (1)（医療機関でない場所で接種を実施する場合）医療法上の開設届け、巡回診療または新規開設の届出
- (2) 会場レイアウトの作成、導線確認（6ページ参照）
- (3) 卸売販売業者立ち会いのもと、ワクチンの配送リハーサルの実施
- (4) 冷蔵庫（2℃～8℃）、消毒用アルコール綿、体温計、救急用品、針捨て容器　など

## 事務局で実施すること

企業において社内連絡体制・対外調整役を確保し、医療機関や都道府県等との連絡調整等を行っていただく必要があります。実際に接種を担当する医療機関等との役割分担を確認しつつ、円滑に接種会場を運営できるようにお願いします。

<具体的に対応する必要がある事項（例）>

- (1) 従業員等のうち、接種を希望する者の把握、必要なワクチン量の算定
- (2) スケジュール設定（接種計画の作成）
- (3) 会場運営にかかる企画・全体調整（医療機関、都道府県、ワクチンを配送する卸売販売業者等との連絡調整などを含む）
- (4) 集合契約への加入等の行政手続き
- (5) 医療機関と連携しつつ、予防接種に係る費用の請求

# 職域接種にあたり国で提供するもの

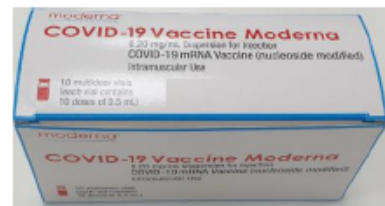
## ワクチン保管用の冷凍庫

- (1) -20°C冷凍庫と保管温度の記録計（データロガー）をご提供します。
- (2) 武田/モデルナ社ワクチンが最大2,400回接種分（バイアル単位で240本分）を保管できます。
- (3) 使用後は返却いただき、他社の接種時に再利用しますので、大切にご使用ください。



## 武田/モデルナ社ワクチン

- (1) 職域接種で使用するワクチンは武田/モデルナ社ワクチンです。  
国から卸売販売業者を通じて、100回分を1単位として配送いたします。
- (2) -20°Cで冷凍された状態で配送され、使用前に解凍が必要です。
- (3) 武田/モデルナ社ワクチンの基本情報  
効能効果：新型コロナウイルス感染症の予防  
接種対象者（年齢）：18歳以上      貯蔵方法：-20±5°C、遮光  
用法・用量：筋肉内に接種（2回）      接種間隔：4週の間隔  
接種不相当者：本剤の成分に対し重度の過敏症の既往歴のある者 等



## 接種用の針・シリンジ

- (1) ワクチン接種に使用する針・シリンジをご提供します。
- (2) 針は1箱100本（83～118mm×93～113mm×75～93mmのサイズ）、  
シリンジは1箱100本（126～380mm×120～378mm×68～150mmのサイズ）  
で配送されますので、針・シリンジの在庫を置くスペースも考慮いただくようお願いします。



## マスク・手袋等の個人防護具（PPE）

- (1) 各接種会場から配布希望があれば、ワクチン接種時に使用するサージカルマスク・非滅菌手袋、緊急時使用備蓄として必要なN95等マスク・アイソレーションガウン・フェイスシールドを国から接種会場に直送します。
- (2) 各物資の配布量の目安は次のとおりです。不足する場合は、国又は接種会場所所在市町村にご相談ください。  
サージカルマスク：ワクチン接種回数×7÷100（各従事者が毎日交換を想定）  
非滅菌手袋：ワクチン接種回数+ワクチン接種回数÷100（接種者は接種ごと、接種補助者は1日1回の交換を想定）  
緊急時使用備蓄：1会場当たりそれぞれ20枚